

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	骨折退院後の下肢筋力の低下、認知度の低下による再転落、転倒の危険性がある。	入院前の状態に戻し、2点柵、センサーを使用せず生活できる。	下肢筋力アップの為離床時間を増やししながら上下肢運動、歩行運動等個別に実施する。又、柵を使用する際はご家族様より同意を得て期間を決めて実施しているが面会の少ない方は来荘時経過を報告しサインを頂く。記録に残しスタッフ間の情報共有をする。	3ヶ月
2	49	体力の低下に伴い、入居者様全員での外出機会が減っている。	入居者様全員で希望の場所へ外出ができる。視覚、聴覚にて日々の変化や季節の変化を感じる事ができる。	天気の良い日は外に出て散歩をし、車椅子の方も一緒に散歩を実施することで入居者様との交流を図れる。又、入居者様の希望の場所や馴染みの場所へ外出を実施する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。